

岡山県で官民連携した交通安全啓発ポスター・チラシを作成 ～岡山県、岡山県警察、自動車関連団体等官民12団体で、岡山県の交通安全に取り組む～

日本損害保険協会岡山損保会（会長：石崎 真哉・東京海上日動火災保険株式会社 岡山支店長）は、岡山県、岡山県警察、自動車関連団体等（岡山損保会を含めて官民12団体）と連携して、啓発ポスター・チラシを作成しました。

このような連携した取組みは、2021年の岡山県における「信号機のない横断歩道での一時停止率」が10.3%で全国ワースト1位（2021年JAF調べ）になったことを受け、不幸な事故を1件でも少なくするために、関係団体と連携してドライバーに横断歩道での一時停止を呼び掛けることを目的として開始しました。

今回作成した啓発ポスター・チラシは、岡山県の交通事故状況を踏まえて、①「横断歩道は歩行者優先」の徹底、②シートベルトの着用推進、③自転車事故防止を主な訴求対象としています。1月17日（金）、岡山県警察本部で寄贈式が開催され、石崎会長から岡山県警察本部交通部交通企画課・徳重 智司参事官に、啓発ポスター約300枚・チラシ約7,000枚を寄贈しました。この啓発ポスター・チラシを活用して、官民連携した啓発活動を取組んでいきます。

当支部では交通事故防止の取組みを推進し、引き続き、安全・安心な社会の実現に貢献していきます。

＜官民連携した啓発活動に取り組む団体＞

岡山県、岡山市、岡山県警察、岡山県交通安全協会、岡山損保会、岡山県損害保険代理業協会、日本自動車販売協会連合会岡山県支部、岡山県自動車整備振興会、岡山県自動車整備商工組合、JAF岡山支部、岡山県レンタカー協会および岡山県中古自動車販売協会（JU岡山）の計12団体



関係者のみなさまと記念撮影

石崎会長（左から3人目）から徳重参事官（右から2人目）に啓発ポスター・チラシを寄贈



石崎会長の挨拶



作成した啓発ポスター・チラシ